

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和07年03月27日

計画の名称	20 物流・交流拠点や工業団地等へのアクセス道路整備													
計画の期間	平成30年度 ～ 令和04年度（5年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	佐賀県,吉野ヶ里町,佐賀市													
計画の目標	物流・交流拠点、工業団地等の整備と連携し、当該箇所へのアクセス道路を整備することにより、ストック効果を高め、雇用創出や地域産業の活性化を図ると共に、県内の交通基盤ネットワークを強化する。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		4,474	A	4,474	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初	R2末	R4末
1	物流・交流拠点、工業団地等と主要幹線道路等を結ぶ整備区間の走行時間をR4までに11%短縮			
	物流・交流拠点、工業団地等と主要幹線道路等を結ぶ整備区間の走行時間を測定し、H30当初からの短縮率を算出する (H30当初の所要時間－評価時点の所要時間)÷H30当初の所要時間×100	0%	%	11%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	道路	一般	佐賀県	直接	佐賀県	都道府 県道	改築	（一）中原鳥栖線 下野 工区	現道拡幅 L=1.0km	鳥栖市	■	■	■	■	■	1,690		－
	A01-002	道路	一般	佐賀県	直接	佐賀県	都道府 県道	改築	（主）佐賀川久保鳥栖線 平田第二工区	現道拡幅 L=0.7km	鳥栖市	■	■	■	■	■	1,171		－
		A-2																	
	A01-003	道路	一般	佐賀県	直接	佐賀県	国道	改築	（国）２０７号 鹿島パ イパス工区	現道拡幅 L=3.3km	鹿島市	■	■				1,000		－
		A-3																	
	A01-004	道路	一般	吉野ヶ里 町	直接	吉野ヶ里町	市町村 道	改築	（他）西石動・上三津東 １号線 石動工区	現道拡幅 L=0.4km	吉野ヶ里町			■	■	■	131		－
		A-4																	
	A01-005	道路	一般	佐賀市	直接	佐賀市	市町村 道	改築	（他）上戸田川上線 佐 賀市工区	現道拡幅L=0.4km	佐賀市			■	■	■	362		－
		A-5																	
	A01-006	道路	一般	佐賀県	直接	佐賀県	都道府 県道	改築	（一）神埼北茂安線 吉 野ヶ里工区	現道拡幅 L=1.7km	吉野ヶ里町					■	120	1.8	－
											小計						4,474		

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
											合計						4,474		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
事業主体（事業担当課）で評価を行う	令和7年3月
	公表の方法
	県ホームページにて公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	現道拡幅や複車線化を行った結果、交通の円滑化が図られ、物流・交流拠点や工業団地等へのアクセス強化に寄与した。 ・拡幅、複車線化により交通容量が増加し、旅行速度の向上が図られ、所要時間が短縮した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
未供用区間の工事を引き続き推進し、早期の効果発現に努める。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	11%	
	最 終 実績値	11%	